

令和6年度 第2回苫小牧市社会教育委員会議 会議録

日 時：令和7年3月27日（木）午後2時00分～午後3時50分
場 所：苫小牧市役所第二庁舎 2階 北会議室

出席委員 藤島議長、奥村副議長、手塚委員、池田委員、今田委員、齋藤委員、榎本委員、東委員、（8名）

欠席委員 坂木委員、小越委員（2名）

事務局 教育委員会：園田教育部長

生涯学習課：河本課長、斉藤課長補佐、仲世古主任主事

科学センター：高坂館長

開 会 （進行）河本生涯学習課長

挨拶 藤島社会教育委員会議長

1 議 事 （進行）藤島議長

（1）第六次生涯学習推進基本計画に基づく取組状況報告

※資料に基づき、事務局（斉藤課長補佐）より説明

（2）その他

・令和7年度（2025年度）教育行政執行方針について

※資料に基づき、事務局（河本課長）より説明

・苫小牧市科学センターの移転改築について

※資料に基づき、事務局（高坂館長）より説明

・苫小牧市文化賞及び文化奨励賞について

※事務局（斉藤課長補佐）より説明

・第六次生涯学習推進基本計画に基づく取組状況報告について

<質疑の内容>

○議長 ただいまの説明、事前に皆さんに資料を提供していただいておりますが、皆さまからご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

○副議長 ご紹介いただきました4ページ、C評価となった「プログラミング体験教室を実施」ですが、評価指標を見ると、ボランティアさんが見つからなかったということですが、そもそもボランティアを活用してということが目的なのか、たまたまボランティアさんがいなかったということだったのか教えてく

ださい。

- 事務局 担当課からは、ボランティアを活用して実施していた事業ということでしたが、昨年見つからず実施できなかったということでD評価となっております。今年度もボランティアさんを活用できれば放課後クラブ内で再開する予定でしたが見つからず、講師を依頼し、体験教室のみの開催となったと伺っております。
- 副議長 今後市としてボランティアを中心に事業を行うということか、足りなければ人材を派遣するということなのか、この事業は今後どのように考えているのか、何か情報があれば教えてください。
- 事務局 この事業は、コミセンの指定管理者の自主事業で、今後ボランティアさんの活用については難しいと聞いています。
- 事務局 少し補足で、生涯学習推進事業の中では、ボランティアの参加というのが目標の中に入っていますので、できるだけボランティアの参加を進めてもらいたいという風に考えていますので、今後その辺について担当課へお話できればと考えております。
- 副議長 一つ心配したのはボランティアの高齢化が話題になりまして、人材が確保できなくなる可能性があるかと、ボランティアの養成、育成。若いボランティアの育成・養成、市が先駆けてやっていく方向性というのがあるのかということも含めましてお聞きした次第です。
- 議長 参加人数というのはどのようになっていますか。
- 事務局 今年度7名と伺っています。
- 議長 昨年度はどうですか。
- 事務局 昨年度は、中止ということで、今年度事業内容を変更しています。
- 議長 他に何かありますか。
- 委員 今のお話ですが、ボランティアを見つけにくいということもありますが、見つけてないのではと思います。私の知っている方もボランティアをやっていますが、見つからないからやらないのではなくて、見つけきれないのではと思います。なので、情報が上手く伝わっていない、拾いきれていないのではと感じますが。要は、教育委員会が持っている情報と担当課が持っている情報が上手く伝わっていないのではと感じます。ボランティアができる方はいらる、私の周りでも時計を趣味としている方もいて、情報を出したら沢山人が来た。やはり見つけきれないということが問題なのかと思いますがいかがですか。
- 事務局 ボランティアさんや生涯学習を行っている方で指導できる方については、ボランティアさんであれば、社会福祉協議会さんのボランティアセンターとの連携であったり、生涯学習課では文化芸術分野などの指導できる方のアーテ

リスト・バンクというものがありますが、委員ご指摘のを見つけきれないという部分については、生涯学習分野の指導者の掘り起こしということで、来年度、生涯学習人材バンクという制度を立ち上げますが、広く周知して人材を掘り起こししたいと思ひまして、情報についても周知に努めたいと考えています。

○議長 プログラミング教室について、プログラミングを受講した方、子供を対象にしていると思いますが、親も来られていると思いますので、例えば親子教室みたいにやってもらって、親にも覚えてもらって講師みたいにできるようなこともできればよいのではと思います。ぜひ、掘り起こしよろしくお願ひします。他にいかがでしょうか。

○委員 これ経費はボランティアだから経費はかかっていないの。

○事務局 昨年まではボランティアの活用ということで謝礼的なものはお渡ししていないと伺っていますが、今回は講師としてお願ひしているので謝礼をお渡ししていると伺っています。

○委員 なるほど、講師派遣という、そういう方法もあるということですね。

○議長 他にありますか。

○委員 例えばですけど、科学センターとかでもそうだと思いますが、高専生とか、工業高校生とかでできる、このプログラミング教室はお子さんを対象にしているということですので、高専生などを活用できるのではと思いますし、あとボランティアでいえば、やる気があってやられている方と、積極的でなくて人から言われたらやるという方もいるので、そういった方にも声を掛けていけたら、広めていけたらと思っています。先ほど掘り起こしというお話もありましたが、方法はいろいろあるのかなと思いますので、ぜひ掘り起こしをお願ひできればと思います。

○議長 今後は学生のボランティアというのも重要だと思います。他にいかがでしょうか。もう一つのC評価となっている部分についてはいかがでしょうか。この身体障がい者文化教室の西洋陶芸教室は例年どの程度参加されているのでしょうか。

○事務局 例年、延べ人数で50人から70人程度となっています。

○委員 この事業はとても期待が持てる事業だと思います。今年は健康麻雀できなかつたということですが、町内会で健康麻雀しましたが盛況でした。健康麻雀、障がいのある方だけでなく、障がいのあるなしに関わらず参加できるようにしてはどうかと思いますが、麻雀、健康にもよいということで良い事業だと思います。

○議長 健康麻雀、公共施設でも行っていましたよね。

○事務局 教室などとして、アイビープラザなどでも行っていきます。

- 議 長 それでは、委員がおっしゃった障がいのあるなしに関わらず参加できるようにしてはどうかという提案ですが、主催団体さんとしてはいかがでしょうかね。
- 事務局 ご提案の部分については、検討できるかも含め団体さんにお話させていただきます。

・令和7年度（2025年度）教育行政執行方針について

<質疑の内容>

- 議 長 ただいまのご説明で委員の皆様から何かご意見・ご質問等ございますか。
- 委員 11ページの美術博物館「戦後80年を節目」とありますが、最近では放送100年のことも言われており、美術博物館でも沢山のラジオが寄贈されていると思いますが、ラジオ放送100年についても触れて、何か取組んでいたければありがたいと思いますが。
- 事務局 そのようなお話があったということを美術博物館へお伝えしたいと思います。
- 委員 ラジオを有効活用できないかということで、提言させていただきました。
- 議 長他に何かありますか。
- 副議長 4ページの2、これからの時代に求められる資質・能力の育成、下から2行目にある「コミュニケーション活動を重視した英語教育の創意工夫と国際理解教育の充実に努めてまいります。」とあり、英語教育と書いてありますが、最近の新聞報道を見るとさまざまな国から転入されていると、そうなる英語ということもわかりますが「多言語教育」という表現にできると国際理解というものも一層に理解しやすいと思いますが、今からでも文言整理は可能でしょうか。
- 事務局 すいません、こちらは確定したものでして、来年度以降でこういったお話があったことを参考にさせていただきたいと思います。

・苫小牧市科学センターの移転改築について

- 議 長 科学センターは昭和45年に開館したということですが、苫小牧市民に親しまれている施設だと思います。時代が変わって、科学のサービスも変わってきていますが、皆さんから見て、現状の科学センターはどのように見えますか。
- 園田部長 補足ですが、今回社会教育委員会議でお諮りしているのは、駅前の複合施設として建設予定の一部のサイエンスパークの在り方としてということをお聞きしています。
- 委員 科学センターは博物館法の適用をされていますか。
- 事務局 博物館法の登録はされています。

- 委員 それでは博物館法の適用のなかでの議論となるのか。そこの考え方をどうするかで議論の方向性が変わると思う。例えば、今では学芸員が学校の授業などで指導していると思いますが、そういったものが適用とならなければ自由にお任せしますよということになろうかと思しますので、そこが心配で聞きました。
- 事務局 博物館法が適用されており、今後もそのように考えています。
- 議長 博物館法が適用されるということは、学芸員が何人必要という縛りはありますか。
- 事務局 令和5年度に博物館法が改正されまして、学芸員を置くことに変わりありませんが、学芸員補という新たな職種ができて、その形でも良いとされております。
- 委員 複合施設の中にミールや機関車を移動させることの問題はありますか。
ミールについては、元々野ざらしで置いてありましたが、市民の要望で貴重な財産、世界で1つしかないものなので、そのままの状態であって良いのかということもあり、建物を建設したという経緯があります。このミール、移動することはできると思いますが、複合施設内になると難しいのかなとも思います。なので、また、野ざらしの状態に戻すという考えをするのも世界に1つしかないものなのでそれも難しいと思いますので、移動してもらえると良いと思います。あと、機関車も今は乗れない状態ですが、国鉄の方が清掃とかしていただいておりますので、綺麗な状態ですが、機関車を移動させるのは難しいのかなと思います。
- 事務局 運搬については可能ですが、費用面で数千万から億単位かかります。美術品のような形で保険みたいなものもありますので高額となりますが、運ぶことは可能です。
- 委員 費用面の問題もあると思いますが、ミールは移動してほしいと思います。
ミールは奇跡的なんですよ。たまたま売り出して、市が買ったんですよ。このようなことはないんです。とても貴重なものなんです。
- 議長 科学館は特徴がないと駄目だと思います。特徴がないからどこも最初は良いけど、あとでリニューアルするときに予算を掛けないとできないという風になる。ミールについては、世界に1つしかないのも、他の町からするとぜひ欲しいというものである。名古屋の愛・地球博を開催する際、ぜひ貸してほしいというような声も出たくらいなんです。意外と市民が貴重なものであることを理解されていないのではと思います。ミールは知的財産なんです。私は、科学観光という視点もあると思いますが、教育の方を重視するべきだと思っています。そういった意味で、ミールを新しいところに持っていかないという選択肢はないと考えています。科学館と一緒にしないといけないと思

っています。1階に置けばよいのかと思います。費用は掛かるとは思います。それでミールどうですかとか、皆さんから見て、現状の館はどのように見えますかと最初に聞いたのはそういった意味でしたが、委員さんからミールと機関車のお話が出て切り離してという話もありましたが、難しいと思いますが、そういったことも含めてご意見がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

委員 高校生くらいのときに引っ越してきたので、科学センター見学を経験していないので行く機会がありませんでした。でも美術博物館も図書館も行く機会がありました。結局周りにいろいろとあるから行くんですよ。図書館があるから美術館に行こうかなとか。ただ、科学センターは少し離れているんですよ。資料は取り寄せてみましたが、ミールを推してるんですよ。他に何かあるかというプラネタリウムがあるんですが、開催時間帯に行けないのでなかなか足が遠のいてしまったんですよ。展示もあるんでしょうけど、それよりミールを推されているので、展示のイメージがないんですよ。なので、引き続き沢山の方にミールを見てもらいたいというのであれば、先ほどお話のあった1階に持って行って、展示とかは上の階とかにあっても良いのかなと思います。別の考えとしては、市民文化ホールができますので、近くに設置すると。やっぱり、気軽に見れるというのが必要なのかなと思います。ただ、苦小牧が今どの方向に進みたいのかというのが見えませんが、紙なのか自動車なのか、今後はラピダス関連なのかもしれないですが、科学と考えるとすごく広いと思いますので、プログラミングもそうだと思いますし、現にイベントを行われているかと思いますが、今ミールのお話が出ていますので、世界に1つという貴重なものですので、広く知ってもらう機会としてミールを入口とするのも良いかと思います。

委員 私は小学校のときに科学センターへ行ったことがあって展示物で遊んだ記憶があります。体験や遊びの中で科学に触れるというのが小学校のときに新鮮であったことが記憶にありましたが、しばらく行かなくて、次に行ったのが息子と行ったんですが、あまり変わり映えがなかったんですよ。今度は駅前再整備でサイエンスパークというような全く違った形の中にあるとなれば、苦小牧市の目玉になるような場所になるのではと勝手なイメージをしています。科学というものもありますが、行きたくなるような場所、遊びたくなるような場所、体験できるような場所。ミールが1階にあって、上には何とかシアターがあって、天体観測など宇宙に向けたものがあるんだけど、特に苦小牧がゼロカーボンシティということに挑戦して環境に力を入れているので、そういうものが目に見えるようなシアターのようなものそれは上の方であって、2階・3階には遊べるもの、子供たちが体験できるようなもの、バーチャルな体験ができるよう

なもの、AIなども使って、例えば、大谷選手のボールが打てるような場所があつて体験できるとか。私、東京の科学館でチーターと競争できるバーチャル体験をしたんです。20mから30m走って、チーターというのはこんなのも早いんだという体験ができたとか。そういうバーチャルなんだけども、体験できるような空間があるような。科学の力で疑似体験できるような空間があると子供たちも親も行きたくなるような、科学に触れながら興味関心がわくよう触れる機会とともに、苫小牧の良さも発信できたり。それこそ100円や200円払うんじゃないなくて、どこかのテーマパークに行くような感じの場所があったらJRを使って来てもらえて良いんじゃないかなって、そういったところからまちづくりができれば良いのでは、まちなか再開発進むんじゃないかなって思っていました。

議長 福岡なんかでもバーチャルあるんですが、そのままだと数年で飽きちゃうんですが、システムなので変えることができる。ただ費用が莫大に掛かるけど、最近の科学館はそういったことになっていますね。あと大事なのは基礎的なもの、滑車だとか面白味はないかもしれないけど、基本原理を学ぶことも大事なのかなと思います。あと、それをわかりやすく解説する文書だとか解説する人の育成が大事だと思います。そうじゃないといくら良い展示をしても人材がいないと、科学館を運営する人も育てないといけないと思います。

委員 検討内の中にはプラネタリウムも書かれていますが、今の科学館ではプラネタリウムは少なくなってきたのかなとも思いますが、良い場所なんですよ。新しい場所でも必要なものでないかと思います。それと展示の考え方ですが、1度見たらもう良いというものでは良くないので、コンピュータを使いながら変更できる空間を作った方が良いと思います。博物館もそうですが、1度入れてしまうと入れ替えが難しいということはあるんですが、バーチャルだと入れ替えは可能だということであれば、展示物は必要がないのかと思います。他の施設での事例もあるので、展示方法は工夫した方が良いかと思います。

議長 展示の講習や教室なんかも重要であると思います。ただ見てもらうだけであれば飽きてしまいますが、教えてもらうということもあればよいと思います。それと天体望遠鏡はどうしますか。まちなかになると光の問題があります。要らないという話なのか。昼間でも見れるような望遠鏡を付ければよいと思いますし、必要なものだと思いますので、まちなかに行くで見れないのでいらないではなく、消去する前に検討、工夫が必要だと思います。

委員 新聞報道では複合施設ということですが、ここには商業施設が入ることでしたら人が集まる可能性がありますよね。駅前ということもありますし、駐車場が整備されれば自動車で来るかもしれませんし。例えばミールですね、ミールについては、なかなか見に行く機会がない、苫小牧市民もなかなか見に行

く機会が少ない。そういったことであれば複合施設にミールがあるので、見る機会を作ってしまう、展示してしまおうというような、苫小牧の象徴ですというような形で、ちょっと科学館とは外れてしまうかもしれませんが、苫小牧の中心となるような施設にするのであれば、ミールを中心に、真ん中に置いて、これは苫小牧にしかない、世界で1つしかないということをアピールするということを考えました。それと機関車ですが、レストアしないといけないということであれば、例えばレストアの過程を撮影しておいて、それをあとで展示しておくとか。そういった展示もできるのかなと考えました。あと、苫小牧は紙で始まり、工業で発展してきた町なので、科学とそう遠くないので、工業展示もしてはどうかと思います。例えば、企業さんの協力をもらえれば、工場見学のような展示ができれば過程がわかるので、企業さんの協力を得てできないかなと、そういうことも考えました。

委員 ちょっと発想が違うかもしれませんが、そもそも論として、苫小牧に人を呼ぶためにやるアミューズメントイメージが強いサイエンスパークでいくのか、あり方では学校教育の補完機能ということが書かれていますけど、それをまちの目玉のところに学校教育を補完してやるのはどうなのかなと思っているんです。不勉強で報道等で出ている部分しか見ていないですが、そもそも駅前再開発っていう部分がメインでいくと、学校教育をまちの真ん中に持って行っても意味がないんじゃないかなって思うんですよね。昔、ファンタジードームがあったり、もっと前だと樽前ハイランドがあったと思いますけども、そっちの意味合いを強くしていかないと駄目なのかなって思っていますけど。融合させるということでしたら、ミールが苫小牧の宝とするならば、まず宇宙産業のフロアを作らないと、ミールだけ置いてあっても何にもならないのではと思うので、無重力体験ができるとかですね、そういったことができるフロアが必要じゃないかと思っています。それと他のフロアに行くとバーチャル体験ができる。例えば大倉山に行くとジャンプ体験ができるみたいな疑似体験ができるなど。あと、学校教育の補完機能ということでしたら、体験教室は沢山やってほしいなと思っています。いつ行っても講座があるとか。そういった体験で理科好きになっていってもらえたら良いと思っています。市教委さんに予算つけてもらって、小学4・5年生がしていますが、科学センター見学なども続けてもらえたら理科好きな子も増えていくのかなと思います。ただ苫小牧に人を呼ぶということでしたら、やり方を考えないと。苫小牧市民を駅前に呼ぶということなのか、他からインバウンドも含めて苫小牧に来てもらおうと考えていることなのかがちょっとわからないところですが。ただ、先ほど説明のあった複合型の1つのサイエンスパークの話ということでしたが、思っていたことはそういうことです。

委員 複合施設の再開発ということですが、ミールを駅前を中心に置いてほしいなと思っています。あと、プラネタリウムを使ったさまざまな催し物ができるような作りしてほしいなど。今の科学センターの作りを活かしながら構想を検討していただけたらと。駅は観光客もいますけど、駅に発展性があると市民も集まりますから、人が集まるとさまざまな効果が生まれますから、ミールや科学館が近くにあると見に行きやすい。苫小牧はただでさえ東西に長い地域なので少し離れると見に行かないという話もありますので、賑やかになるところに集めるということができると良いかと思いました。帯広も参考にできるのかなと思いました。駅を中心にしたまちづくりを参考に、大人から子供まで集うまちにもらえるようにしてもらえたらと思います。

委員 料金体系について、入場料、現在は市外などでも有料という施設が多いと思いますが、教育施設として小中学生は無料としていただければと思います。

・苫小牧市文化賞及び文化奨励賞について

<質疑の内容>

特になし

閉会 15:50